
















講座名	「国語科授業実践講座」 ～言語活動の充実 「説明文の読み」を通して～		
講師	仲地千佳（浦添市立神森小学校教諭）		
期 日	平成24年7月30日（月）	時 間	9：30～12：00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小 114 中0 計 114
講 座 内 容	<p>言語活動の充実 ～「説明的文章の指導」を通して～</p> <p>1 伝え合う力を育てるための学習指導</p> <p>2 「説明的文章の指導」の授業の実際</p> <p>単元名「せんそうのこわさを伝えよう」 ～調べたことの中から選んで書く～ 指導と評価の計画を取り入れた指導案の工夫と授業の実際 校内研の様子など</p> <p>3 つけたい力を明確に持つための 単元計画・評価計画表 ○説明的な文章の学習用語の一覧 ○文学的な文章の学習用語の一覧 ◇学習指導展開計画・実施・評価</p>    		
感 想	<p><b>小</b>：説明文の読み取りではなく、それを生かした「書く」授業についての実践例なので良かった。</p> <p><b>質 問</b></p> <p><b>小</b>：「はじめ」「なか」「おわり」がすぐ見てわかる色分けされた作文用紙。とてもすごいアイデアだと思いました。ぜひ、私も実践してみたいと思います。</p> <p><b>小</b>：低・中・高学年別に学習用語のみにつけたい力等をまとめた一覧表があり分かりやすかったです。</p> <p><b>小</b>：説明的文章は指導事項をしっかりと押さえて授業を行わないと子どもの力が付いていかないと改めて感じた。</p> <p><b>小</b>：国語の研究を進めていく中で、いつも疑問に感じていたことを説明して下さったので、胸のつかえが取れた気分になりました。要領に出てくる学習用語をまとめてあるので、抜け落ちがないように指導していきたいと思います。</p>		






講座名	「理科授業実践講座」 ～科学的な思考・表現を育成する授業改善～		
講師	玉村かおり（那覇市立教育研究所 指導主事）		
期日	平成24年8月8日（水）	時間	9：30～12：00
場所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人数	小22 中5 計27
講座内容	<p>科学的な思考・表現を育成する授業改善</p> <p>理科における各学年の系統                  ○各学年でつきたい資質・能力（3～6年）</p> <p>1 科学的思考とは                  ・理科の目標                  ・「全国学力・学習状況調査」から</p> <p>2 理科で育てたい資質・能力</p> <p>3 わかる授業を目指して                  教材提示や導入時の指示、実験の工夫                  ・自分ごとの問題解決（学ぶ必然性を持たせるために）</p> <p>・担任の理科教育へのかかわり                  ・鉱物&amp;UVチェックピースストラップづくり</p>		
	   		
感想	<p><b>小</b>：理科教育の基礎的なこともわかりやすく実践における仕掛け方なども大変勉強になりました。「探究する楽しさ」が感じ取れる講座だと思います。</p>		
質問	<p><b>小</b>：単元の評価をだいたい2時間位でワークシートの評価をしているのですが、単元の評価を新聞を作らせて評価するというのはとても良い方法だと思いました。</p> <p><b>中</b>：理科の目標や各学年の系統などの話をとてもわかりやすく話をして下さり、これまでごちゃごちゃしていた頭の中が整理されてよかったです。</p> <p><b>中</b>：中学校の実験でも使えそうなお話を聞かせてもらってとても為になりました。理科の目標や科学的思考の説明もわかりやすく聞くことができました。導入時の演示実験を工夫して生徒の心を最初につかむことが大事だなと鉱物やUVチェックピースを使ってストラップを作っていました。</p>		

講座名	「キャリア教育指導実践講座」 ～キャリア教育と関連付けた学力向上の取組～		
講師	黒木義成（那覇市立金城小学校長）		
期 日	平成24年8月3日（金）	時 間	9：30～12：00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小101 中9 所員10 計120
講 座 内 容	<p>「キャリア教育と関連づけた学力向上の取り組み」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「夢・にぬふぁ星プランⅢ」策定の背景</li> <li>2 授業における子どもの姿は？ —子どもの眼差し—</li> <li>3 基礎的・汎用的能力</li> <li>4 「キャリア教育」に期待されること</li> <li>5 夢・にぬふぁ星プランⅢ —虹色・未来への架け橋—</li> <li>6 「なりたい自分」を広げる授業とは</li> <li>7 「地域人材を活用した」事例</li> <li>8 「なれる自分」を広げる授業とは</li> <li>9 年間学習指導計画への位置づけ</li> <li>10 職場体験活動を生かした体験後の 取り組みの充実</li> <li>11 学校で今後取り組まなければならない内容</li> </ol>		
	   		
感 想 質 問	<p><input type="checkbox"/> キャリア教育について勉強不足だと分かりました。でも、今日はいい勉強になりました。早速リーフレットを読んで何から取り組んでいいか考えられることから始めたいと思います。研究所やセンターでの研修を受けると「次からこうしたい」という意欲がわいてきます。</p> <p><input type="checkbox"/> 「夢・にぬふぁ星プランⅢ」は読んでわかっていたつもりでしたが、今回、講話を伺って、改めて詳しく内容を理解することができました。さらに、この施策にしっかりと取り組み、子どもたちを育てていく責任を感じました。「生活に結びつける」ということを意識して授業を組み立てていきたいと思います。</p> <p><input type="checkbox"/> 発達段階に応じた「なりたい自分」と「なれる自分」を広げる授業を展開したいと実感しました。また、授業内容と社会のつながりが実感できる地域人材を活用した授業を取り組んでみたいと思いました</p> <p><input type="checkbox"/> 「キャリア教育の視点を踏まえた『確かな学力の向上』」の文言の捉え方がより明らかになった気がする。夢の実現のための目標から職場体験学習をどうしてもイメージしがちだが、「日々の学習内容が実生活に関連すること」を実感させることが大切だと納得できた。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域人材を活用する具体的なイメージと必要性が分かった。人材バンクを活用し取り組んでいきたい。</p>		






講座名	「読み聞かせ講座」 ～プロに学ぶ，豊かな表現～		
講師	佐渡山美智子（フリーランスネットワーク主宰）		
期 日	平成24年8月6日（月）	時 間	9：30～12：00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	幼1小31中10 司書他2計43
講 座 内 容	<p>◇読み方の基本：効果的な言葉・声の使い方・演出</p> <p>◇言葉・声の使い方</p> <p>◇読む速さ，声の調子，アクセント，間の取り方</p> <p>・工藤直子『のはらうた』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいたくて」</li> <li>・「おれは かまきり」</li> <li>・「あいさつ」</li> <li>・「ひるねのひ」</li> <li>・「詩をかくひ」</li> <li>・「おやすみ」</li> </ul> <p>◇発声練習</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
感 想 質 問	<p><b>小</b>：佐渡山先生の素敵な声を直に聞くことができ、とてもいい機会となりました。先生の「楽しい」がとても伝わり、夏休み明けの学級での実践にすぐにでも生かせる充実した時間を過ごすことができました。</p> <p><b>小</b>：声の出し方で印象が変わることにびっくりしました。表情をつけて、いろいろ工夫して、範読をしたり、群読に取り入れていきたいと思えます。</p> <p><b>小</b>：50%しか相手に伝わるのができたらいいと聞いてとても安心しました。</p> <p><b>小</b>：とても優しい声でお話をさせていただいてスッと心に入りました。声や表情だけで人に与える印象が大きく変わることがわかりました。私も教師として、子どもに声と表情を工夫しながら、様々なことを語りかけられるように、今日学んだことを生かしていきたいと思いました。</p> <p><b>中</b>：読み聞かせや朗読の具体的なことから自分自身や周りを明るく笑顔にさせる精神的なことまで学び、気付かせてくれる楽しい講座でした。とても元気になれました。今後授業でぜひ実践したいです。</p> <p><b>中</b>：とても実践的で素晴らしかった。今度は実際に教科書を読んでほしいです。</p>		

講座名	「道徳授業実践講座」 ～子どもの主体的な取組を重視した授業～		
講師	仲盛光子（浦添市立当山小学校長）		
期日	平成24年8月6日（月）	時間	13:30～16:00
場所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人数	小 41 中 4 計 45
講座内容	<p>子どもの主体的な取組を重視した授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇道徳教育とは</li> <li>◇道徳教育の背景</li> <li>◇教育活動全体を通じて行う道徳教育の進め方</li> <li>◇各教科等の指導を通じて道徳性を養うための視点</li> <li>◇学校教育と道徳の時間</li> <li>◇道徳教育と道徳の時間</li> <li>◇道徳の時間の指導の学校の教育活動全体への波及</li> <li>◇道徳の時間の基本的な考え方</li> <li>◇道徳的価値の自覚を深める</li> <li>◇自己の生き方についての考えを深める</li> <li>◇道徳的実践力を育成する</li> <li>◇道徳の時間の授業構想</li> <li>◇道徳の時間の授業の実際</li> <li>◇道徳の時間の主題とねらい</li> </ul> <p>※「すあしにサンダルの天使ーマザー・テレサー」の授業実践</p>		
	   		
感想	<p><b>小</b>：資料やグループワークで学んだことを今後の授業に生かしていきたいと思います。学級経営すべてが道徳につながっていることが改めて知らされてドキッとしました。</p>		
質問	<p><b>小</b>：グループ協議で授業研の指導内容についてみんなで親身になって考えてくださり、大変感謝しています。</p> <p><b>小</b>：実践されたことを分かりやすく講話していただき大変参考になりました。後半は、初め何をしたいのかよく分からなかったのですが、グループの先生方と情報交換しながら、今後の実践に生かせる話し合いが少しはできたかな？という感じでした。</p> <p><b>小</b>：「場面発問」と「テーマ発問」について詳しく知ることができて良かったです。仲盛先生のお話もとてもわかりやすく、大変勉強になりました。資料もとてもよかったので、学校で活用しまくりたいと思います。</p> <p><b>小</b>：自分でやった授業、検討したい指導案を持ち寄ることで、先輩教師から意見をいただけてとても勉強になりました。</p>		

講座名	「算数科授業実践講座」 ～子どもの気づきを重視した授業の組み立て方～		
講師	宮里 晋（那覇市立古蔵小学校教頭）		
期 日	平成24年7月30日（月）	時 間	13:30～16:00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小131 中1 計132
講 座 内 容	<p>授業の組み立て方とポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 はじめに</li> <li>2 授業における各場面の目的</li> <li>3 「気づき」の重視と「思考過程」の重視 「思考過程」に気付かせる有効な手立て  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     ・一つずつ ・少しずつ ・順序よく                 </div> </li> <li>4 各場面におけるポイント                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①場面理解</li> <li>②課題の明確化</li> <li>③課題の焦点化</li> <li>④自力解決</li> <li>⑤比較・検討</li> <li>⑥まとめ</li> <li>⑦運用・習熟</li> </ol> </li> <li>5 最後に</li> </ol>		
			
			
			
感想 質 問	<p><b>小</b>：子どもの目線に立って、授業を組み立てる、発問することを教材研究の段階でしっかり考えていくことがものすごく大切だと思いました。</p> <p><b>小</b>：算数の授業の組み立てがよくわかった。「各場面で目的を持って進めるとブレない」という言葉にもなるほどと思った。一学期後半からの授業で生かしていきたい。</p> <p><b>小</b>：問題解決的学習の流れでのポイントが場面ごとに抑えられ分かりやすかったです。紙面だけではなく実践の様子も見られ、具体的に理解できました。</p> <p><b>小</b>：授業1コマにおける板書の仕方、教師の言葉を具体的に教えていただきありがとうございました。先生の資料を振り返り自分なりの指導方法を確立したいと思います。教材研究をしながら、1コマ1コマの授業のめあてが何で、焦点化すべき課題は何なのか考えていきたいと思っています。算数の面白さを子どもたちに伝えるため、私も「一つ一つ、少しずつ、順序よく」前に進んでいきたいと思っています。</p>		

講座名	「国語科授業実践講座」 ～「学び合い」の視点に立った授業づくり～		
講師	上江洲朝男（那覇市立教育研究所 指導主事）		
期 日	平成24年8月10日（金）	時 間	9：30～12：00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小3 中22 所員 計25
講 座 内 容	<p>「学び合い」の視点に立った授業づくり～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業づくりのポイント  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;課題と改善策&gt;</li> </ul> </li> <li>2 グループワーク <ul style="list-style-type: none"> <li>①目標に迫れる授業内容を考えよう  <ul style="list-style-type: none"> <li>※本時の評価規準と展開</li> </ul> </li> <li>②シェアリング</li> </ul> </li> <li>3 「学び合い」を体験しよう</li> <li>4 「学び合い」について考える  <ul style="list-style-type: none"> <li>※「学び合い」の3つのキーワード</li> </ul> </li> <li>5 「学び合い」の視点に立った授業づくりのポイント</li> <li>6 おわりに</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">      </div>		
感 想 質 問	<p><b>小</b>：子どもと同じ立場になって考えたり、学び合う中で、どんなことに視点をおいて発問すればよいのか非常に悩みました。私たちの発問があいまいだと子どもは何を学んだのかよりあいまいな時間を過ごさせてしまうこととなります。今まで指導書に頼りがちでしたが、教師も対話を通し学び合う中で教材が深まっていくのだと感じました。</p> <p><b>小</b>：実際に自分たちで詩を読んで解釈をぶつけ合うのは小学校でも実践できるので、是非取り入れてやっていきたいです。学び合いのイメージが今日の講座で具体的になったので、いろいろな教科、授業で取り入れていきます。</p> <p><b>中</b>：教材研究の大切さを実感し、一学期後半に向けて準備をしっかりしていこうと意欲がわきました。先生の講座はいつも実践中心ですぐに取り入れられることも多く、また今やっていることの改善点も見えて、自分の授業を見つめ直すよい機会となります。自分も教材を好きになるほど研究し、学び合いのできる授業づくりに頑張りたいです。</p> <p><b>中</b>：授業の中で交流させても、騒がしく感じたり、こちらの望んでいるような話し合いの深まりが感じられないことがあり、グループ学習の継続に自信が持てないことがありました。授業でつかみとらせたいねらいを明確にし、わかりやすい支持と活動内容をはっきりさせることが不足していたのだと反省。夏休み明けに、また、改善して取り組みたいと思います。</p>		

講座名	「数学科授業実践講座」 ～活用する力を育成する授業改善～		
講師	伊良皆恭子（那覇市教育委員会 学校教育課 指導主事）		
期日	平成24年8月13日（月）	時間	9：30～12：00
場所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人数	中 5 計 5

講座内容	<p>活用する力を育成する授業づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 はじめに</li> <li>2 「活用する力」のとらえ</li> <li>3 活用する力を育成する授業づくりの視点</li> <li>4 ワーク（「活用する力」を育む視点に立った授業づくりを考えよう）</li> <li>5 授業事例の紹介</li> <li>6 おためし授業</li> <li>7 活用する力を育成する授業づくりのポイント</li> <li>8 おわりに</li> </ol>	    
------	--	---

感想質問

中： 数学的活動を取り入れていくことによって、生徒の興味関心を引きだし、それによって考えさせていく様努めていきたい。また、先生のワークシートの作成方法等もとても参考になりました。





中： 指導案での留意点、評価項目など改めて考えさせられました。教師の授業意欲＝生徒の学習意欲。教師の熱意がそのまま生徒の意欲につながるのだ。再認識させられました。生徒の気持ち、立場に立った授業づくりに励みたいです。

中： 昨年、2乗に比例する関数の導入場面で2hたっぷり使って階段の問題に取り組みました。今日出たいくつかの関数を出させるのに1h、それを発表し合い分類するのに1hかかりました。工夫すれば1hにまとめてできたのかな……？と反省もありました。また、「 $y = 2x^2 + 3x - 1$ 」の問題に関しては、教師から答えを導いてしまったので、今年は、生徒に課題として解かせるのもアリだなと思いました。（中略）日頃から、授業に言語活動を取り入れ、生徒の思考を奪わない、思考過程を見とり、ノートにしっかり書かせ、適切な評価を行うことが大切だと思いました。

中： 教材研究が足りないとつくづく感じました。特に今の状況では、いかに授業にのせていくかから始まり、苦戦するばかりなので「つかみ」を模索しているところです。まずは、自分が深める（楽しい授業ができるように工夫）ことが先決ということが改めて痛感しました。

:



講座名	「感想画指導実践講座」 ～活用する力を育成する授業改善～		
講師	西村貞雄（沖縄県美術教育推進協議会役員）		
期 日	平成24年8月13日（金）	時 間	13:30～16:00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小60 中2 計
講 座 内 容	<p>活用する力を育成する授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※たらしこみ技法の習得</li> <li>※水と絵の具の割合</li> <li>※シャガールの技法</li> <li>◇感想画の指導で困っていること</li> <li>◇絵を描く過程として</li> <li>◇児童の発達段階と描画指導</li> <li>◇指導の手立て</li> <li>◇絵を描かせる意味など</li> <li>◇単語</li> <li>◇絵とことば</li> <li>◇図式期における基本的図記号 <ul style="list-style-type: none"> <li>※「おおきなかぶ」の感想画実技指導</li> <li>※切り紙による配置の仕方</li> <li>※トリミング技法など</li> </ul> </li> </ul>		
	   		
感 想 質 問	<p><b>小</b>：同じテーマで絵を描いても、今日のように一人ひとり違う絵が出来上がり、とても印象的でした。しかし、学校での指導において、テーマは統一ですが、描けない生徒（自身のない生徒）への指導となると今日の大人のようにすらすらと筆が進まないで、その時の手立てを教えてくださいたいです。</p> <p><b>小</b>：絵と言葉の関係や絵と描く前のポーズや土粘土で立体的に作るなどとても興味深い話が聞けたことがよかったです。今後ワンパターンの画用紙の与え方から脱すること、トリミングでのクローズアップ技法なども指導に取り入れていきたいと思えます。</p> <p><b>小</b>：コンクールありきの指導ではなく、自分のイメージで描くための手立て、用具の活用や色つけの指導、十分考えて、楽しく感情豊かに描画できるようにしたい。</p> <p><b>小</b>：実践的な内容で楽しく学ぶことができました。</p>		

